

令和 3 年 6 月 10 日現在

機関番号：12602

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2018～2020

課題番号：18K07814

研究課題名(和文)抗体産生不全症原因遺伝子同定によるヒト抗体産生機構の解明

研究課題名(英文)Elucidation of the mechanism of human antibody production by identifying causative genes for primary antibody deficiency

研究代表者

今井 耕輔 (IMAI, Kohsuke)

東京医科歯科大学・大学院医歯学総合研究科・寄附講座准教授

研究者番号：90332626

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,400,000円

研究成果の概要(和文)：病原体やワクチンに対して「免疫がついた」という場合、多くは生涯抗体産生が可能となることを指している。分類不能型免疫不全症(CVID)は単一遺伝子異常により、抗体産生ができない疾患である。本研究では、世界初のAPRIL完全欠損症によるCVID患者解析を通して、APRILが記憶B細胞と形質細胞の維持により、生涯に渡る免疫記憶を担っていることや、BAFF・APRILを用いた新たなCVID亜分類法を見出した。さらに、全エクソン解析で見出したPNKP異常症やDNMT3B変異ICF症候群患者解析を通して、それぞれの分子がB細胞受容体遺伝子再構成や、記憶B細胞分化・維持に関わるメカニズムについて研究した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

APRIL欠損症の発見と病態の解明から、抗体産生へのAPRILの役割がわかり、組換えAPRILの臨床応用への可能性が示唆された。抗体産生不全症約200例について、記憶B細胞、形質細胞、IgG/A/M/E、血漿APRIL、BAFFを用いた分類を行った。XLA患者では全例BAFF高値・APRIL正常範囲であり、その他の抗体産生不全症患者、自己免疫疾患患者を、BAFF and/or APRIL高値と正常の4群にわけることが可能であった。また、抗体産生不全症を中心とした175例でのExome解析の結果、約1/3は既知遺伝子異常が同定されたが、残り2/3は原因不明であり、今後の研究の進展が望まれる。

研究成果の概要(英文)：Common variable immunodeficiency (CVID) is a disease in which antibody production is not possible due to a single gene abnormality. In this study, through the analysis of novel CVID patient due to complete APRIL deficiency, we found that APRIL is responsible for lifelong immunological memory by maintaining memory B cells and plasma cells, and proposed a new CVID subclassification method using serum BAFF and APRIL. In addition, through the analysis of patients with PNKP deficiency and DNMT3B mutated ICF syndrome, which were found by whole exome sequencing, we studied the mechanisms by which each molecule is involved in B cell receptor gene rearrangement and memory B cell differentiation and maintenance.

研究分野：免疫学

キーワード：抗体産生 免疫記憶 原発性免疫不全症 形質細胞 B細胞 DNAメチル化 遺伝子再構成 エクソーム解析

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19 (共通)、10ポイントの明朝体

1. 研究開始当初の背景

原発性免疫不全症 (PID) は、単一遺伝子異常による易感染性あるいは免疫調節異常を呈する疾患群であり、300 の原因遺伝子が明らかになっているが、その半数を占める抗体産生不全症は、B 細胞欠損症、クラススイッチ異常症 (高 IgM 症候群:HIGM) および分類不能免疫不全症 (CVID) からなっている。申請者らは、それぞれの原因遺伝子を多数発見してきた。CVID は記憶 B 細胞あるいは形質細胞の分化障害と考えられ、その原因遺伝子は 13 個明らかになっており、徐々に抗体産生の機構は明らかになりつつあるが、未だ 90% の症例で原因遺伝子が不明であり、その説明は、ヒトの抗体産生機構の解明につながる。

近年、次世代シーケンサー (NGS) による全エクソン解析が可能となり、とくに両親を加えたトリオ解析により、de novo 変異による原因遺伝子の同定が盛んになってきている。申請者らは、2006 年から理化学研究所、かずさ DNA 研究所との共同研究による全国の PID 中央診断ネットワーク:PIDJ を構築してきており、5000 例の登録がされている。そのうち、約 1/3 の症例は、申請者らの大学に紹介され、臨床的検討の後、TREC, KREC (Kamae, 2013, JACI), 10 カラー-FACS (Takashima, 2017, JoCI) を用いた免疫学的検討を行い、候補遺伝子解析を行い、診断に至らない場合、全エクソン解析を行ってきた。すでに 100 例前後の全エクソン解析が終了しているが、そのうち既知遺伝子の診断が確定した例は 30 例前後である。こうした中には、既知遺伝子の稀な表現型 (Takagi, 2017, PBC; Sekinaka, 2017, JoCI) もあり、報告してきたが、複数の新規遺伝子の変異も発見してきている。その中の近親婚家系の 1 症例で、APRIL (遺伝子名 *TNFSF13*) の変異 (c.747delC, p.Leu250Cysfs) を両アリルに同定した。APRIL 遺伝子については、その欠損マウスが IgA 低下を示すことが報告されているが (Castigli, 2004, PNAS) ヒトにおける報告はない。本症例は、分類不能型免疫不全症 (CVID) に分類される低 グロブリン血症を呈する成人患者であったが、IgA および形質細胞もほぼ欠損しており、IgM も低値だが、IgG は低値ながら若干残存していた。末梢血単球における APRIL の mRNA は著しく低下しており、単核球における蛋白発現もみられず、血清、血漿中 APRIL も検出できなかった。従って、本患者は世界初の APRIL 完全欠損症による IgA 欠損と形質細胞分化障害を伴う CVID であることが明らかになった。

IgA は生体内で最も分泌量の多い Ig であり、細菌感染、ウイルス感染等に対する感染防御粘膜免疫の要となっているが、現在のところ、*in vitro* での産生系は不十分であり、補充療法も行えず、IgA 欠損を伴う CVID 患者では、慢性副鼻腔炎、気管支炎などに悩まされている。マウスの実験からは、粘膜関連リンパ組織 (MALT)、とくに腸間膜リンパ節で APRIL, BAFF 依存的に、T 細胞非依存性の IgA へのクラススイッチ再構成 (CSR) をすることが報告されているが、ヒトでのメカニズムは明らかではない。 APRIL の受容体である TACI 変異患者では、IgA 低下は見られるが、形質細胞減少は見られず、IgM は正常または高値である。一方、TACI のもう一つのリガンドである BAFF は、TACI、BCMA に加え、BAFFR を刺激することで、より早期の末梢 B 細胞生存にも関わっているとされている。BAFFR 欠損患者は 1 家系 2 例のみ海外から報告されており、成熟 B 細胞減少と IgG 低下が報告されているが、IgA は正常とされている。今回の APRIL 欠損患者の発見から、ヒトにおいて、IgA の CSR には APRIL を介した TACI 刺激が必要であり、形質細胞の維持には APRIL による BCMA の刺激が必要であることが示唆される。CVID と (暫定) 診断される患者は、TREC, KREC、10 カラー-FACS により、複合免疫不全症、B 細胞初期分化異常症 (B 細胞欠損症) を除外できるようになったが、まだ半数程度の CVID 患者の亜分類ができておらず、IgA 単独欠損症の病態もほとんど明らかではない。

2. 研究の目的

本研究では、まず、APRIL 変異患者の IgA 欠損、形質細胞分化障害のメカニズムを明らかにすることを目的とした。次に、BAFF/APRIL-BAFFR/TACI/BCMA 系の変異患者をこれまでの蓄積した抗体産生不全症患者の中から同定し、臨床的・免疫学的・分子生物学的特徴を明らかにすることとした。さらにその特徴を用いて、TREC+KREC+CVID を亜群分類し、原因遺伝子を同定することで、ヒト免疫系、とくに IgA 産生と粘膜免疫系における、BAFF/APRIL-BAFFR/TACI/BCMA 系の役割と単球系細胞群を明らかにすることを目的とした。

3. 研究の方法

(1) APRIL 欠損患者についての検討

単球および活性化 T 細胞などにおける BAFF/APRIL-BAFFR/TACI/BCMA 系 (BA-BTB 系) の発現 APRIL 変異患者 B 細胞のレパトア・Ig 体細胞突然変異 (SHM)・Ig クラススイッチ能・抗体産生能

患者単球系培養細胞への正常 APRIL 遺伝子導入による、抗体産生能・形質細胞分化能の回復の有無

(2) 抗体産生不全患者の亜分類についての検討

(3) 他の抗体産生不全症患者の原因遺伝子の検討と病態の解明

4. 研究成果

(1) APRIL 欠損患者についての検討

単球および活性化 T 細胞などにおける BAFF/APRIL-BAFFR/TACI/BCMA 系 (BA-BTB 系) の発現 T 細胞、活性化 T 細胞では、BAFF は少量発現していたが、APRIL はほとんど発現していなかった。一方単球では、BAFF、APRIL ともに発現しており、APRIL 欠損患者でも BAFF は発現していた。なお、血清でも、健常者では APRIL、BAFF ともに検出し、BTK 変異による B 細胞欠損症である X 連鎖無ガンマグロブリン血症患者では、BAFF、APRIL ともに極めて高値であった。APRIL 欠損患者では、BAFF は高値だが、APRIL は全く検出できなかった。BAFFR はナイーブ、メモリー B 細胞に強く発現し、TACI はメモリー B 細胞で高く、BCMA は形質細胞でのみ発現していた。健常者、患者ともに同じ発現パターンであった。

APRIL 変異患者 B 細胞のレパトア・Ig 体細胞突然変異 (SHM)・Ig クラススイッチ能・抗体産生能

B 細胞レパトア、可変領域の SHM について次世代シーケンサーを用いて解析したが、健常者と差はみられなかった。また、患者 B 細胞をスイッチ領域特異的プライマーを用いた PCR で検討した Ig クラススイッチ能は、患者と健常者に有意差はなく、sCD40L + IL21 刺激を用いた検討でも患者ナイーブ細胞は増殖し、IgG、IgA へのクラススイッチを示し、短期の抗体産生も可能であった。なお、末梢血中のメモリー B 細胞は全てのサブクラスで減少していた。

患者単球系培養細胞への正常 APRIL 遺伝子導入による、抗体産生能・形質細胞分化能の回復の有無

APRIL 欠損患者では形質細胞欠損を認めることから、長期生存型抗体産生細胞 (形質細胞) の分化に問題があるのではないかと考えた。末梢血単球由来樹状細胞では、抗体産生支持能が不十分であったため、iPS 由来単球由来樹状細胞を樹立し、健常 B 細胞と共培養を行い、形質細胞分化の差を見た。APRIL 欠損患者では、BAFF 分泌は高値であったが、APRIL 分泌は完全に欠損しており、B 細胞の形質細胞への分化誘導能の低下を認めたが、組換え APRIL の添加により、回復することを証明した。

本研究により、APRIL がメモリーB 細胞と形質細胞の維持に関わっていることを見出すことができた(Yeh TW, et al. JACI, 2020) (図1)

(2) 抗体産生不全患者の亜分類についての検討

血清 BAFF・APRIL を用いた新たな抗体産生不全症亜分類法を見出した(図2)

(3) 他の抗体産生不全症患者の原因遺伝子の検討と病態の解明

抗体産生不全症を中心に175例で Exome 解析を行い報告した(Okano T, et al. JoCI, 2020)。ICOS, FAS, CARD11, HOIL1, STAT3-GOF, DNMT3B, ZBTB24, BTK, MSN, NFKB1/2, IKZF1, CD40L, SLC39A7/ZIP7, STAT1-GOF など既知遺伝子の変異を3割程度の患者で認め、現在保険適応になっている既知遺伝子パネルの有用性が示唆された。

ICF 症候群1型はDNAのde novoメチル化を行うDNMT3B遺伝子異常によりメモリーB細胞が欠損する疾患であるため、本疾患患者のメチローム解析とRNAseqを行い、解析を進めている。

新規抗体産生不全症として、PNKP異常症の姉妹を発見し、PNKPのT細胞・B細胞受容体再構成への役割についての検討、DNMT3B異常症の解析によるDNAメチル化のB細胞分化への役割の検討と、その他の抗体産生不全症の原因遺伝子についてExome解析等により検討した。

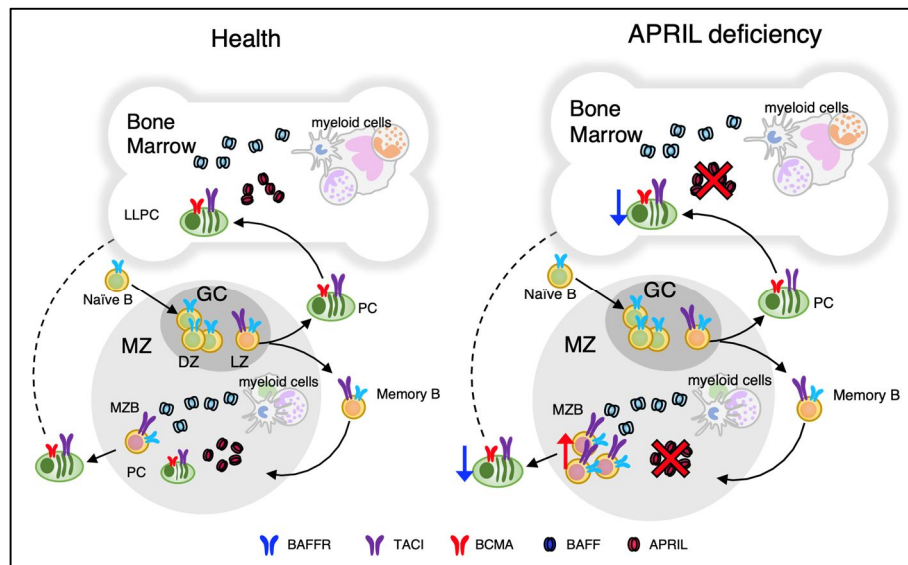


図1：APRIL欠損症の病態

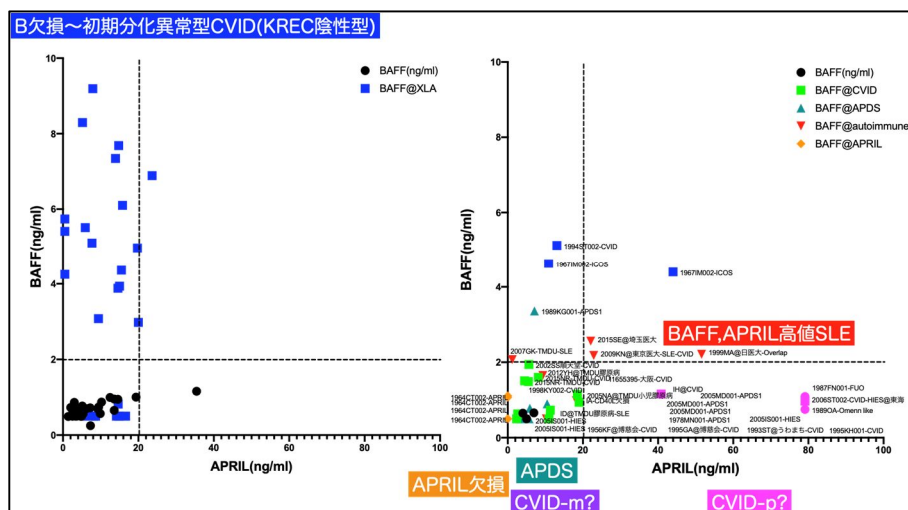


図2：BAFF、APRILを用いた抗体産生不全症の亜分類

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計72件（うち査読付論文 72件 / うち国際共著 13件 / うちオープンアクセス 26件）

1. 著者名 Rawat A, Vignesh P, Sudhakar M, Sharma M, Suri D, Jindal A, Gupta A, Shandilya JK, Loganathan SK, Kaur G, Chawla S, Patra PK, Khadwal A, Saikia B, Minz RW, Aggarwal V, Taur P, Pandrowala A, Gowri V, Desai M, Kulkarni M, Hule G, Bargir U, Kambli P, Madkaikar M, Bhattad S, Ginigeri C, Kumar H, Jayaram A, Munirathnam D, S	4. 巻 12
2. 論文標題 Clinical, Immunological, and Molecular Profile of Chronic Granulomatous Disease: A Multi-Centric Study of 236 Patients From India	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Front Immunol	6. 最初と最後の頁 625320
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fimmu.2021.625320	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する
1. 著者名 Tanita K, Sakura F, Nambu R, Tsumura M, Imanaka Y, Ohnishi H, Kato Z, Pan J, Hoshino A, Suzuki K, Yasutomi M, Umetsu S, Okada C, Takagi M, Imai K, Ohara O, Muise AM, Okada S, Morio T, Kanegane H.	4. 巻 41
2. 論文標題 Correction to: Clinical and Immunological Heterogeneity in Japanese Patients with Gain-of-Function Variants in STAT3	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 J Clin Immunol	6. 最初と最後の頁 791-794
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10875-021-01014-6	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 Inoue K, Sasaki S, Yasumi T, Imai K, Kusunoki T, Morio T, Kanegane H.	4. 巻 41
2. 論文標題 Correction to: Helicobacter cinaedi-Associated Refractory Cellulitis in Patients with X-Linked Agammaglobulinemia	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 J Clin Immunol	6. 最初と最後の頁 847
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10875-021-01015-5	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 Vignesh P, Rawat A, Kumrah R, Singh A, Gummadi A, Sharma M, Kaur A, Nameirakpam J, Jindal A, Suri D, Gupta A, Khadwal A, Saikia B, Minz RW, Sharma K, Desai M, Taur P, Gowri V, Pandrowala A, Dalvi A, Jodhawat N, Kambli P, Madkaikar MR, Bhattad S, Ramprakash S, Cp R, Jayaram A, Sivasankaran M, Munirathnam D, Balaji S, Ra	4. 巻 11
2. 論文標題 Clinical, Immunological, and Molecular Features of Severe Combined Immune Deficiency: A Multi-Institutional Experience From India	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Front Immunol	6. 最初と最後の頁 619146
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fimmu.2020.619146	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Rawat A, Jindal AK, Suri D, Vignesh P, Gupta A, Saikia B, Minz RW, Banday AZ, Tyagi R, Arora K, Joshi V, Mondal S, Shandilya JK, Sharma M, Desai M, Taur P, Pandrowala A, Gowri V, Sawant-Desai S, Gupta M, Dalvi AD, Madkaikar M, Aggarwal A, Raj R, Uppuluri R, Bhattad S, Jayaram A, Lashkari HP, Rajasekhar L, Munirathnam D	4. 巻 11
2. 論文標題 Clinical and Genetic Profile of X-Linked Agammaglobulinemia: A Multicenter Experience From India	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Front Immunol	6. 最初と最後の頁 612323
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fimmu.2020.612323	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Imanaka Y, Taniguchi M, Doi T, Tsumura M, Nagaoka R, Shimomura M, Asano T, Kagawa R, Mizoguchi Y, Karakawa S, Arihiro K, Imai K, Morio T, Casanova JL, Puel A, Ohara O, Kamei K, Kobayashi M, Okada S.	4. 巻 -
2. 論文標題 Inherited CARD9 Deficiency in a Child with Invasive Disease Due to Exophiala dermatitidis and Two Older but Asymptomatic Siblings	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 J Clin Immunol	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10875-021-00988-7	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Kadowaki S, Hashimoto K, Nishimura T, Kashimada K, Kadowaki T, Kawamoto N, Imai K, Okada S, Kanegane H, Ohnishi H.	4. 巻 23
2. 論文標題 Functional analysis of novel A20 variants in patients with atypical inflammatory diseases	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Arthritis Res Ther	6. 最初と最後の頁 52
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s13075-021-02434-w	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nishimura A, Aoki Y, Ishiwata Y, Ichimura T, Ueyama J, Kawahara Y, Tomoda T, Inoue M, Matsumoto K, Inoue K, Hiroki H, Ono S, Yamashita M, Okano T, Tanaka-Kubota M, Ashiarai M, Miyamoto S, Miyawaki R, Yamagishi C, Tezuka M, Okawa T, Hoshino A, Endo A, Yasuhara M, Kamiya T, Mitsuiki N, Ono T, Isoda T, Yanagimachi M, Tomi	4. 巻 -
2. 論文標題 Hematopoietic Cell Transplantation with Reduced Intensity Conditioning Using Fludarabine/Busulfan or Fludarabine/Melphalan for Primary Immunodeficiency Diseases	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 J Clin Immunol	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10875-021-00966-z	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Mushino T, Hiroi T, Yamashita Y, Suzaki N, Mishima H, Ueno M, Kinoshita A, Minami K, Imai K, Yoshiura KI, Sonoki T, Tamura S.	4. 巻 -
2. 論文標題 Progressive Massive Splenomegaly in an Adult Patient with Kabuki Syndrome Complicated with Immune Thrombocytopenic Purpura	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Intern Med	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2169/internalmedicine.6694-20	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tanita K, Sakura F, Nambu R, Tsumura M, Imanaka Y, Ohnishi H, Kato Z, Pan J, Hoshino A, Suzuki K, Yasutomi M, Umetsu S, Okada C, Takagi M, Imai K, Ohara O, Muise AM, Okada S, Morio T, Kanegane H.	4. 巻 41
2. 論文標題 Clinical and Immunological Heterogeneity in Japanese Patients with Gain-of-Function Variants in STAT3	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 J Clin Immunol	6. 最初と最後の頁 780-790
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10875-021-00975-y	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Miyazaki H, Hoshi N, Kohashi M, Tokunaga E, Ku Y, Takenaka H, Ooi M, Yamamoto N, Uemura S, Nishimura N, Iijima K, Jimbo K, Okano T, Hoshino A, Imai K, Kanegane H, Kobayashi I, Kodama Y.	4. 巻 -
2. 論文標題 A case of autoimmune enteropathy with CTLA4 haploinsufficiency	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Intest Res	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5217/ir.2020.00041	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Pilania RK, Rawat A, Vignesh P, Guleria S, Jindal AK, Das G, Suri D, Gupta A, Gupta K, Chan KW, Lau YL, Imai K, Singh S.	4. 巻 41
2. 論文標題 Liver Abscess in Chronic Granulomatous Disease-Two Decades of Experience from a Tertiary Care Centre in North-West India	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 J Clin Immunol	6. 最初と最後の頁 552-564
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10875-020-00938-9	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Vignesh P, Loganathan SK, Sudhakar M, Chaudhary H, Rawat A, Sharma M, Shekar A, Vaiphei K, Kumar N, Singh Sachdeva MU, Jindal AK, Suri D, Gupta A, Ray P, Imai K, Ohara O, Nonoyama S, Lau YL, Singh S.	4. 巻 9
2. 論文標題 Hemophagocytic Lymphohistiocytosis in Children with Chronic Granulomatous Disease-Single-Center Experience from North India	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 J Allergy Clin Immunol Pract	6. 最初と最後の頁 771-782
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jaip.2020.11.041	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Inoue M, Isoda T, Yamashita M, Tomoda T, Inoue K, Okano T, Ohkawa T, Endo A, Mitsuiki N, Kamiya T, Yanagimachi M, Yamamoto K, Inaba Y, Sasaki T, Takagi M, Kanegane H, Imai K, Morio T.	4. 巻 41
2. 論文標題 Cytomegalovirus Laryngitis in Primary Combined Immunodeficiency Diseases	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 J Clin Immunol	6. 最初と最後の頁 243-247
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10875-020-00873-9	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Zhang Q, Bastard P, Liu Z, Le Pen J, Moncada-Velez M, Chen J, Ogishi M, Sabli IKD, Hodeib S, Korol C, Rosain J, Bilguvar K, Ye J, Bolze A, Bigio B, Yang R, Arias AA, Zhou Q, Zhang Y, Onodi F, Korniotis S, Karpf L, Philippot Q, Chbihi M, Bonnet-Madin L, Dorgham K, Smith N, Schneider WM, Razoooky BS, Hoffmann HH, Michaili	4. 巻 370
2. 論文標題 Inborn errors of type I IFN immunity in patients with life-threatening COVID-19	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Science	6. 最初と最後の頁 eabd4570
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1126/science.abd4570	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Bastard P, Rosen LB, Zhang Q, Michailidis E, Hoffmann HH, Zhang Y, Dorgham K, Philippot Q, Rosain J, Břkziat V, Manry J, Shaw E, Haljasmārgi L, Peterson P, Lorenzo L, Bizien L, Trouillet-Assant S, Dobbs K, de Jesus AA, Belot A, Kallaste A, Catherinot E, Tandjaoui-Lambiotte Y, Le Pen J, Kerner G, Bigio B, Seeleuthner Y,	4. 巻 370
2. 論文標題 Autoantibodies against type I IFNs in patients with life-threatening COVID-19	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Science	6. 最初と最後の頁 eabd4585
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1126/science.abd4585	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Inoue K, Sasaki S, Yasumi T, Imai K, Kusunoki T, Morio T, Kanegane H.	4. 巻 40
2. 論文標題 Helicobacter cinaedi-Associated Refractory Cellulitis in Patients with X-Linked Agammaglobulinemia	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 J Clin Immunol	6. 最初と最後の頁 1132-1137
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10875-020-00830-6	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Matsumoto K, Hoshino A, Nishimura A, Kato T, Mori Y, Shimomura M, Naito C, Watanabe K, Hamazaki M, Mitsuiki N, Takagi M, Imai K, Nonoyama S, Kanegane H, Morio T.	4. 巻 40
2. 論文標題 DNA Ligase IV Deficiency Identified by Chance Following Vaccine-Derived Rubella Virus Infection	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 J Clin Immunol	6. 最初と最後の頁 1187-1190
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10875-020-00831-5	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Leung D, Chua GT, Mondragon AV, Zhong Y, Nguyen-Ngoc-Quynh L, Imai K, Vignesh P, Suratannon N, Mao H, Lee WI, Kim YJ, Chan GCF, Liew WK, Huong LTM, Kanegane H, Muktiarti D, Zhao X, Santos-Ocampo FJ, Latiff AHA, Seger R, Ochs HD, Singh S, Lee PP, Lau YL.	4. 巻 11
2. 論文標題 Current Perspectives and Unmet Needs of Primary Immunodeficiency Care in Asia Pacific	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Front Immunol	6. 最初と最後の頁 1605
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fimmu.2020.01605	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Yanagimachi M, Kato K, Iguchi A, Sasaki K, Kiyotani C, Koh K, Koike T, Sano H, Shigemura T, Muramatsu H, Okada K, Inoue M, Tabuchi K, Nishimura T, Mizukami T, Nuno H, Imai K, Kobayashi M, Morio T.	4. 巻 11
2. 論文標題 Hematopoietic Cell Transplantation for Chronic Granulomatous Disease in Japan	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Front Immunol	6. 最初と最後の頁 1617
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fimmu.2020.01617	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Osumi T, Yoshimura S, Sako M, Uchiyama T, Ishikawa T, Kawai T, Inoue E, Takimoto T, Takeuchi I, Yamada M, Sakamoto K, Yoshida K, Kimura Y, Matsukawa Y, Matsumoto K, Imadome KI, Arai K, Deguchi T, Imai K, Yuza Y, Matsumoto K, Onodera M, Kanegane H, Tomizawa D, Kato M.	4. 巻 26
2. 論文標題 Prospective Study of Allogeneic Hematopoietic Stem Cell Transplantation with Post-Transplantation Cyclophosphamide and Antithymocyte Globulin from HLA-Mismatched Related Donors for Nonmalignant Diseases	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Biol Blood Marrow Transplant	6. 最初と最後の頁 e286-e291
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bbmt.2020.08.008	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Matsuda T, Kambe N, Ueki Y, Kanazawa N, Izawa K, Honda Y, Kawakami A, Takei S, Tonomura K, Inoue M, Kobayashi H, Okafuji I, Sakurai Y, Kato N, Maruyama Y, Inoue Y, Otsubo Y, Makino T, Okada S, Kobayashi I, Yashiro M, Ito S, Fujii H, Kondo Y, Okamoto N, Ito S, Iwata N, Kaneko U, Doi M, Hosokawa J, Ohara O, Saito MK, Nis	4. 巻 79
2. 論文標題 Clinical characteristics and treatment of 50 cases of Blau syndrome in Japan confirmed by genetic analysis of the NOD2 mutation	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Ann Rheum Dis	6. 最初と最後の頁 1492-1499
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1136/annrheumdis-2020-217320	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sakata S, Tsumura M, Matsubayashi T, Karakawa S, Kimura S, Tamaura M, Okano T, Naruto T, Mizoguchi Y, Kagawa R, Nishimura S, Imai K, Le Voyer T, Casanova JL, Bustamante J, Morio T, Ohara O, Kobayashi M, Okada S.	4. 巻 32
2. 論文標題 Autosomal recessive complete STAT1 deficiency caused by compound heterozygous intronic mutations	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Int Immunol	6. 最初と最後の頁 663-671
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/intimm/dxaa043	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Okano T, Imai K, Naruto T, Okada S, Yamashita M, Yeh TW, Ono S, Tanaka K, Okamoto K, Tanita K, Matsumoto K, Toyofuku E, Kumaki-Matsumoto E, Okamura M, Ueno H, Ogawa S, Ohara O, Takagi M, Kanegane H, Morio T.	4. 巻 40
2. 論文標題 Whole-Exome Sequencing-Based Approach for Germline Mutations in Patients with Inborn Errors of Immunity	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 J Clin Immunol	6. 最初と最後の頁 729-740
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10875-020-00798-3	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Inoue K, Miura H, Hoshino A, Kamiya T, Tanita K, Ohye T, Park MJ, Yanagimachi M, Takagi M, Imai K, Morio T, Yoshikawa T, Kanegane H.	4. 巻 22
2. 論文標題 Inherited chromosomally integrated human herpesvirus-6 in a patient with XIAP deficiency	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Transpl Infect Dis	6. 最初と最後の頁 e13331
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/tid.13331	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kadowaki T, Ohnishi H, Kawamoto N, Kadowaki S, Hori T, Nishimura K, Kobayashi C, Shigemura T, Ogata S, Inoue Y, Hiejima E, Izawa K, Matsubayashi T, Matsumoto K, Imai K, Nishikomori R, Ito S, Kanegane H, Fukao T.	4. 巻 216
2. 論文標題 Immunophenotyping of A20 haploinsufficiency by multicolor flow cytometry	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Clin Immunol	6. 最初と最後の頁 108441
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.clim.2020.108441	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yeh TW, Okano T, Naruto T, Yamashita M, Okamura M, Tanita K, Du L, Pan-Hammarström Q, Mitsuiki N, Okada S, Kanegane H, Imai K, Morio T.	4. 巻 146
2. 論文標題 APRIL-dependent lifelong plasmacyte maintenance and immunoglobulin production in humans	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 J Allergy Clin Immunol	6. 最初と最後の頁 1109-1120
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jaci.2020.03.025	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Hoshino A, Tokoro S, Akashi T, Inoue M, Takagi M, Imai K, Kanegane H, Muraosa Y, Kamei K, Morio T.	4. 巻 62
2. 論文標題 Disseminated fusariosis in a child after haploidentical hematopoietic stem cell transplantation	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Pediatr Int	6. 最初と最後の頁 419-420
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/ped.14097	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Mori M, Hira A, Yoshida K, Muramatsu H, Okuno Y, Shiraishi Y, Anmae M, Yasuda J, Tadaka S, Kinoshita K, Osumi T, Noguchi Y, Adachi S, Kobayashi R, Kawabata H, Imai K, Morio T, Tamura K, Takaori-Kondo A, Yamamoto M, Miyano S, Kojima S, Ito E, Ogawa S, Matsuo K, Yabe H, Yabe M, Takata M.	4. 巻 105
2. 論文標題 Pathogenic mutations identified by a multimodality approach in 117 Japanese Fanconi anemia patients	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Haematologica	6. 最初と最後の頁 1166-1167
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3324/haematol.2019.245720	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hoshino A, Tokoro S, Akashi T, Inoue M, Takagi M, Imai K, Kanegane H, Muraosa Y, Kamei K, Morio T	4. 巻 62
2. 論文標題 Disseminated fusariosis in a child after haploidentical hematopoietic stem cell transplantation.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Pediatr Int	6. 最初と最後の頁 419 ~ 420
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/ped.14097	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hoshino A, Nishimura A, Naruto T, Okano T, Matsumoto K, Okamoto K, Shintaku H, Tokoro S, Okamoto H, Wada T, Takagi M, Imai K, Kanegane H, Morio T	4. 巻 -
2. 論文標題 High-throughput analysis revealed the unique immunoglobulin gene rearrangements in plasmacytoma-like post-transplant lymphoproliferative disorder	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Br J Haematol	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/bjh.16583	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Moriya K, Suzuki T, Uchida N, Nakano T, Katayama S, Irie M, Rikiishi T, Niizuma H, Okada S, Imai K, Sasahara Y, Kure S	4. 巻 -
2. 論文標題 Ruxolitinib treatment of a patient with steroid-dependent severe autoimmunity due to STAT1 gain-of-function mutation	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Int J Hematol	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s12185-020-02860-7	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sato Satoshi, Ohnishi Takuma, Uejima Yoji, Furuichi Mihoko, Fujinaga Shuichiro, Imai Kohsuke, Nakamura Kimitoshi, Kawano Yutaka, Suganuma Eisuke	4. 巻 -
2. 論文標題 Induction therapy with rituximab for lupus nephritis due to prolidase deficiency	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Rheumatology	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/rheumatology/keaa051	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Umeda K, Imai K, Yanagimachi M, Yabe H, Kobayashi M, Takahashi Y, Kajiwara M, Yoshida N, Cho Y, Inoue M, Hashii Y, Atsuta Y, Morio T	4. 巻 -
2. 論文標題 Impact of graft-versus-host disease on the clinical outcome of allogeneic hematopoietic stem cell transplantation for non-malignant diseases	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Int J Hematol	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s12185-020-02839-4.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sutani Akito, Miyakawa Yuichi, Tsuji-Hosokawa Atsumi, Nomura Risa, Nakagawa Ryuichi, Nakajima Keisuke, Maru Mitsue, Aoki Yuki, Takasawa Kei, Takagi Masatoshi, Imai Kohsuke, Kashimada Kenichi, Morio Tomohiro	4. 巻 28
2. 論文標題 Gonadal failure among female patients after hematopoietic stem cell transplantation for non-malignant diseases	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Clinical Pediatric Endocrinology	6. 最初と最後の頁 105 ~ 112
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1297/cpe.28.105	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Mori M, Hira A, Yoshida K, Muramatsu H, Okuno Y, Shiraishi Y, Anmae M, Yasuda J, Tadaka S, Kinoshita K, Osumi T, Noguchi Y, Adachi S, Kobayashi R, Kawabata H, Imai K, Morio T, Tamura K, Takaori-Kondo A, Yamamoto M, Miyano S, Kojima S, Ito E, Ogawa S, Matsuo K, Yabe H, Yabe M, Takata M	4. 巻 104
2. 論文標題 Pathogenic mutations identified by a multimodality approach in 117 Japanese Fanconi anemia patients	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Haematologica	6. 最初と最後の頁 1962 ~ 1973
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3324/haematol.2018.207241	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hayase Tomomi, Ikeda Takahiro, Yoshimoto Taichiro, Imai Kohsuke, Morimoto Akira	4. 巻 61
2. 論文標題 Fatal idiopathic pneumonia syndrome in Artemis deficiency	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Pediatrics International	6. 最初と最後の頁 929 ~ 931
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/ped.13951	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Tozawa Yusuke, Abdrabou Shima Said Mohamed Ali, Nogawa-Chida Natsuko, Nishiuchi Ritsuo, Ishida Toshiaki, Suzuki Yuichi, Sano Hideki, Kobayashi Ryoji, Kishimoto Kenji, Ohara Osamu, Imai Kohsuke, Naruto Takuya, Kobayashi Kunihiko, Ariga Tadashi, Yamada Masafumi	4. 巻 208
2. 論文標題 A deep intronic mutation of c.1166-285T>?G in SLC46A1 is shared by four unrelated Japanese patients with hereditary folate malabsorption (HFM)	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Clinical Immunology	6. 最初と最後の頁 108256 ~ 108256
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.clim.2019.108256	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hasegawa S, Kumada S, Tanuma N, Tsuji-Hosokawa A, Kashimada A, Mizuno T, Moriyama K, Sugawara Y, Shirai I, Miyata Y, Nishida H, Mashimo H, Hasegawa T, Hosokawa T, Hisakawa H, Uematsu M, Fujine A, Miyata R, Sakuma H, Kashimada K, Imai K, Morio T, Hayashi M, Mizutani S, Takagi M	4. 巻 100
2. 論文標題 Long-Term Evaluation of Low-Dose Betamethasone for Ataxia Telangiectasia	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Pediatric Neurology	6. 最初と最後の頁 60 ~ 66
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.pediatrneurol.2019.05.006	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ibusuki Atsuko, Nishikawa Takuro, Hiraki Tsubasa, Okano Tsubasa, Imai Kohsuke, Kanegane Hirokazu, Ohnishi Hidenori, Kato Zenichiro, Fujii Kazuyasu, Tanimoto Akihide, Kawano Yoshifumi, Kanekura Takuro	4. 巻 46
2. 論文標題 Prominent Dermal Langerhans Cells in an Omenn Syndrome Patient With a Novel Mutation in the IL2RG Gene	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 The Journal of Dermatology	6. 最初と最後の頁 1019 ~ 1023
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/1346-8138.15054	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Umeda K, Yabe H, Kato K, Imai K, Kobayashi M, Takahashi Y, Yoshida N, Sato M, Sasahara Y, Kato K, Adachi S, Koga Y, Okada K, Inoue M, Hashii Y, Atsuta Y, Morio T	4. 巻 54
2. 論文標題 Impact of low-dose irradiation and in vivo T-cell depletion on hematopoietic stem cell transplantation for non-malignant diseases using fludarabine-based reduced-intensity conditioning	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Bone Marrow Transplantation	6. 最初と最後の頁 1227 ~ 1236
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41409-018-0418-8	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Egawa Makiko, Kanegane Hirokazu, Imai Kohsuke, Morio Tomohiro, Miyasaka Naoyuki	4. 巻 32
2. 論文標題 Intravenous immunoglobulin (IVIg) efficiency in women with common variable immunodeficiency (CVID) decreases significantly during pregnancy	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 The Journal of Maternal-Fetal & Neonatal Medicine	6. 最初と最後の頁 3092 ~ 3096
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/14767058.2018.1455824	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Iguchi A, Cho Y, Yabe H, Kato S, Kato K, Hara J, Koh K, Takita J, Ishihara T, Inoue M, Imai K, Nakayama H, Hashii Y, Morimoto A, Atsuta Y, Morio T	4. 巻 110
2. 論文標題 Long-term outcome and chimerism in patients with Wiskott-Aldrich syndrome treated by hematopoietic cell transplantation: a retrospective nationwide survey	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Int J Hematol	6. 最初と最後の頁 364 ~ 369
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s12185-019-02686-y.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hoshino Akihiro, Kanegane Hirokazu, Nishi Masanori, Tsuge Ikuya, Tokuda Kiriko, Kobayashi Ichiro, Imai Kohsuke, Morio Tomohiro, Takagi Masatoshi	4. 巻 203
2. 論文標題 Identification of autoantibodies using human proteome microarrays in patients with IPEX syndrome	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Clinical Immunology	6. 最初と最後の頁 9 ~ 13
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.clim.2019.03.011	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yamashita M, Wakatsuki R, Kato T, Okano T, Yamanishi S, Mayumi N, Tanaka M, Ogura Y, Kanegane H, Nonoyama S, Imai K, Morio T	4. 巻 109
2. 論文標題 A synonymous splice site mutation in IL2RG gene causes late-onset combined immunodeficiency	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Int J Hematol	6. 最初と最後の頁 603 ~ 611
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s12185-019-02619-9	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sasaki H, Takamura A, Kawahata K, Takashima T, Imai K, Morio T, Kohsaka H	4. 巻 48
2. 論文標題 Peripheral blood lymphocyte subset repertoires are biased and reflect clinical features in patients with dermatomyositis	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Scandinavian Journal of Rheumatology	6. 最初と最後の頁 225 ~ 229
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/03009742.2018.1530371	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 金兼 弘和、今井 耕輔	4. 巻 60
2. 論文標題 特集 原発性免疫不全症候群-最近の話題 5. 原発性免疫不全症候群の診断と遺伝子解析ネットワーク	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 小児科	6. 最初と最後の頁 1249 ~ 1256
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.18888/sh.0000001007	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hoshino Akihiro, Kanegane Hirokazu, Nishi Masanori, Tsuge Ikuya, Tokuda Kiriko, Kobayashi Ichiro, Imai Kohsuke, Morio Tomohiro, Takagi Masatoshi	4. 巻 203
2. 論文標題 Identification of autoantibodies using human proteome microarrays in patients with IPEX syndrome	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Clinical Immunology	6. 最初と最後の頁 9 ~ 13
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.clim.2019.03.011	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Mori M, Hira A, Yoshida K, Muramatsu H, Okuno Y, Shiraishi Y, Anmae M, Yasuda J, Tadaka S, Kinoshita K, Osumi T, Noguchi Y, Adachi S, Kobayashi R, Kawabata H, Imai K, Morio T, Tamura K, Takaori-Kondo A, Yamamoto M, Miyano S, Kojima S, Ito E, Ogawa S, Matsuo K, Yabe H, Yabe M, Takata M	4. 巻 -
2. 論文標題 Pathogenic mutations identified by a multimodality approach in 117 Japanese Fanconi anemia patients	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Haematologica	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3324/haematol.2018.207241	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -
1. 著者名 Sasaki H, Takamura A, Kawahata K, Takashima T, Imai K, Morio T, Kohsaka H	4. 巻 -
2. 論文標題 Peripheral blood lymphocyte subset repertoires are biased and reflect clinical features in patients with dermatomyositis	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Scandinavian Journal of Rheumatology	6. 最初と最後の頁 1~5
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/03009742.2018.1530371	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 Umeda Katsutsugu, iYabe Hiromasa, Kato Koji, Imai Kohsuke, Kobayashi Masao, Takahashi Yoshiyuki, Yoshida Nao, Sato Maho, Sasahara Yoji, Kato Keisuke, Adachi Souichi, Koga Yuhki, Okada Keiko, Inoue Masami, Hashii Yoshiko, Atsuta Yoshiko, Morio Tomohiro	4. 巻 -
2. 論文標題 Impact of low-dose irradiation and in vivo T-cell depletion on hematopoietic stem cell transplantation for non-malignant diseases using fludarabine-based reduced-intensity conditioning	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Bone Marrow Transplantation	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41409-018-0418-8	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 Kumaki Eri, Tanaka Keisuke, Imai Kohsuke, Aoki-Nogami Yuki, Ishiguro Akira, Okada Satoshi, Kanegane Hirokazu, Ishikawa Fumihiko, Morio Tomohiro	4. 巻 109
2. 論文標題 Atypical SIFD with novel TRNT1 mutations: a case study on the pathogenesis of B-cell deficiency	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 International Journal of Hematology	6. 最初と最後の頁 382~389
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s12185-019-02614-0	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Okano T, Imai K, Tsujita Y, Mitsuiki N, Yoshida K, Kamae C, Honma K, Mitsui-Sekinaka K, Sekinaka Y, Kato T, Hanabusa K, Endo E, Takashima T, Hiroki H, Yeh TW, Tanaka K, Nagahori M, Tsuge I, Bando Y, Iwasaki F, 他	4. 巻 143
2. 論文標題 Hematopoietic stem cell transplantation for progressive combined immunodeficiency and lymphoproliferation in patients with activated phosphatidylinositol-3-OH kinase syndrome type 1	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Allergy and Clinical Immunology	6. 最初と最後の頁 266 ~ 275
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jaci.2018.04.032	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Egawa Makiko, Imai Kohsuke, Taketani Yoko, Morio Tomohiro, Miyasaka Naoyuki	4. 巻 39
2. 論文標題 Two Prenatal Cases of Hyper-IgE Syndrome	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Clinical Immunology	6. 最初と最後の頁 15 ~ 18
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10875-018-0588-6	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tamura Akihiro, Uemura Suguru, Yamamoto Nobuyuki, Saito Atsuro, Kozaki Aiko, Kishimoto Kenji, Ishida Toshiaki, Hasegawa Daiichiro, Hiroki Haruka, Okano Tsubasa, Imai Kohsuke, Morio Tomohiro, Kanegane Hirokazu, Kosaka Yoshiyuki	4. 巻 14
2. 論文標題 Hematopoietic cell transplantation for asymptomatic X-linked lymphoproliferative syndrome type 1	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Allergy, Asthma & Clinical Immunology	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s13223-018-0306-1	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shigeta Naoya, Nakamura Hitomi, Kumasawa Keiichi, Imai Kohsuke, Saito Shigeru, Sakaguchi Shimon, Kimura Tadashi	4. 巻 121
2. 論文標題 Are naive T cells and class-switched memory (IgD- CD27+) B cells not essential for establishment and maintenance of pregnancy? Insights from a case of common variable immunodeficiency with pregnancy.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Medical Hypotheses	6. 最初と最後の頁 36 ~ 41
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.mehy.2018.09.014	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Jolles S, Rojavin MA, Lawo JP, Nelson R Jr, Wasserman RL, Borte M, Tortorici MA, Imai K, Kanegane H	4. 巻 38
2. 論文標題 Long-Term Efficacy and Safety of Hizentra in Patients with Primary Immunodeficiency in Japan, Europe, and the United States: a Review of 7 Phase 3 Trials	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 J Clin Immunol	6. 最初と最後の頁 864-865
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10875-018-0560-5	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Kamae C, Imai K, Kato T, Okano T, Honma K, Nakagawa N, Yra S, Hayeh TW, Noguchi E, Ohara A, Shigemura T, Takahashi H, Takakuashi M, Honma A, Watanabe S, Shigemori T, Ohara O, Sasaki H, Kubota T, Morio T, Kanegane H, Nonoyama S	4. 巻 38
2. 論文標題 Clinical and Immunological Characterization of ICF Syndrome in Japan	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Clinical Immunology	6. 最初と最後の頁 927 ~ 937
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10875-018-0559-y	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kashimada Ayako, Hasegawa Setsuko, Nomura Toshihiro, Shiraku Hiroshi, Moriyama Kengo, Suzuki Tomonori, Nakajima Keisuke, Mizuno Tomoko, Imai Kohsuke, Sugawara Yuji, Morio Tomohiro, Kumada Satoko, Takagi Masatoshi	4. 巻 41
2. 論文標題 Genetic analysis of undiagnosed ataxia-telangiectasia-like disorders	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Brain and Development	6. 最初と最後の頁 150 ~ 157
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.braindev.2018.09.007	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kubota-Tanaka M, Osumi T, Miura S, Tsujimoto H, Imamura T, Nishimura A, Oki K, Nakamura K, Miyamoto S, Inoue K, Inoue M, Kamiya T, Yanagimachi M, Okano T, Mitsuiki N, Isoda T, Imai K, Kanegane H, Morio T, Kounami S, Endo M, Kato M, Takagi M	4. 巻 104
2. 論文標題 B-lymphoblastic lymphoma with TCF3-PBX1 fusion gene	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Haematologica	6. 最初と最後の頁 e35 ~ e37
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3324/haematol.2018.199885	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Rawat Amit, Mathew Babu, Pandiarajan Vignesh, Jindal Ankur, Sharma Madhubala, Suri Deepti, Gupta Anju, Goel Shubham, Karim Adil, Saikia Biman, Minz Ranjana W., Imai Kohsuke, Nonoyama Shigeaki, Ohara Osamu, Giliiani Silvia Clara, Notarangelo Luigi D., Chan Koon-Wing, Lau Yu-Lung, Singh Surjit	4. 巻 195
2. 論文標題 Clinical and molecular features of X-linked hyper IgM syndrome - An experience from North India	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Clinical Immunology	6. 最初と最後の頁 59 ~ 66
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.clim.2018.07.013	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Hoshino Akihiro, Tanita Kay, Kanda Kenji, Imadome Ken-Ichi, Shikama Yoshiaki, Yasumi Takahiro, Imai Kohsuke, Takagi Masatoshi, Morio Tomohiro, Kanegane Hirokazu	4. 巻 195
2. 論文標題 High frequencies of asymptomatic Epstein-Barr virus viremia in affected and unaffected individuals with CTLA4 mutations	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Clinical Immunology	6. 最初と最後の頁 45 ~ 48
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.clim.2018.07.012	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Noguchi Yusuke, Tomizawa Daisuke, Hiroki Haruka, Miyamoto Satoshi, Tezuka Mari, Miyawaki Reiji, Tanaka-Kubota Mari, Okano Tubasa, Kobayashi Chika, Mitsuki Noriko, Aoki Yuki, Imai Kohsuke, Kajiwara Michiko, Kanegane Hirokazu, Morio Tomohiro, Takagi Masatoshi	4. 巻 6
2. 論文標題 Hematopoietic cell transplantation for myeloid/NK cell precursor acute leukemia in second remission	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Clinical Case Reports	6. 最初と最後の頁 1023 ~ 1028
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/ccr3.1506	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ono S, Nakayama M, Kanegane H, Hoshino A, Shimodera S, Shibata H, Fujino H, Fujino T, Yunomae Y, Okano T, Yamashita M, Yasumi T, Izawa K, Takagi M, Imai K, Zhang K, Marsh R, Picard C, Latour S, Ohara O, Morio T	4. 巻 108
2. 論文標題 Comprehensive molecular diagnosis of Epstein-Barr virus-associated lymphoproliferative diseases using next-generation sequencing	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 International Journal of Hematology	6. 最初と最後の頁 319 ~ 328
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s12185-018-2475-6	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tanaka-Kubota Mari, Shinozaki Koji, Miyamoto Satoshi, Yanagimachi Masakatsu, Okano Tsubasa, Mitsuiki Noriko, Ueki Masahiro, Yamada Masafumi, Imai Kohsuke, Takagi Masatoshi, Agematsu Kazunaga, Kanegane Hirokazu, Morio Tomohiro	4. 巻 107
2. 論文標題 Hematopoietic stem cell transplantation for pulmonary alveolar proteinosis associated with primary immunodeficiency disease	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 International Journal of Hematology	6. 最初と最後の頁 610 ~ 614
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s12185-017-2375-1	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nakagawa Ryuichi, Takasawa Kei, Yeh Tzu-Wen, Imai Kohsuke, Kashimada Kenichi, Morio Tomohiro	4. 巻 10
2. 論文標題 Type 1 diabetes mellitus associated with activated phosphatidylinositol 3-kinase delta syndrome, type 2	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Diabetes	6. 最初と最後の頁 421 ~ 422
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/1753-0407.12638	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Schwab C, Gabrys A, Olbrich P, Warnatz K, Wolff D, Hoshino A, Kobayashi M, Imai K, Takagi M, Dybedal I, Haddock JA, Sansom D, Lucena JM, Seidl M, Reiser V, Emmerich F, Frede N, Bulashevskaya A, Salzer U, Schubert D, 他	4. 巻 142
2. 論文標題 Phenotype, penetrance, and treatment of 133 cytotoxic T-lymphocyte antigen 4-insufficient subjects	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Allergy and Clinical Immunology	6. 最初と最後の頁 1932 ~ 1946
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jaci.2018.02.055	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Hoshino A, Takashima T, Yoshida K, Morimoto A, Kawahara Y, Yeh TW, Okano T, Yamashita M, Mitsuiki N, Imai K, Sakatani T, Nakazawa A, Okuno Y, Shiraishi Y, Chiba K, Tanaka H, Miyano S, Ogawa S, Kojima S, Morio T, Kanegane H	4. 巻 218
2. 論文標題 Dysregulation of Epstein-Barr Virus Infection in Hypomorphic ZAP70 Mutation	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 The Journal of Infectious Diseases	6. 最初と最後の頁 825 ~ 834
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/infdis/jiy231	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Okano Tsubasa, Tsujita Yuki, Kanegane Hirokazu, Mitsui-Sekinaka Kanako, Tanita Kay, Miyamoto Satoshi, Yeh Tzu-Wen, Yamashita Motoi, Terada Naomi, Ogura Yumi, Takagi Masatoshi, Imai Kohsuke, Nonoyama Shigeaki, Morio Tomohiro	4. 巻 38
2. 論文標題 Droplet Digital PCR-Based Chimerism Analysis for Primary Immunodeficiency Diseases	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Clinical Immunology	6. 最初と最後の頁 300 ~ 306
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10875-018-0497-8	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Asano Takaki, Okada Satoshi, Tsumura Miyuki, Yeh Tzu-Wen, Mitsui-Sekinaka Kanako, Tsujita Yuki, Ichinose Youjiro, Shimada Akira, Hashimoto Kunio, Wada Taizo, Imai Kohsuke, Ohara Osamu, Morio Tomohiro, Nonoyama Shigeaki, Kobayashi Masao	4. 巻 9
2. 論文標題 Enhanced AKT Phosphorylation of Circulating B Cells in Patients With Activated PI3K Syndrome	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Frontiers in Immunology	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fimmu.2018.00568	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Egawa Makiko, Kanegane Hirokazu, Imai Kohsuke, Morio Tomohiro, Miyasaka Naoyuki	4. 巻 -
2. 論文標題 Intravenous immunoglobulin (IVIg) efficiency in women with common variable immunodeficiency (CVID) decreases significantly during pregnancy	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 The Journal of Maternal-Fetal & Neonatal Medicine	6. 最初と最後の頁 1 ~ 5
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/14767058.2018.1455824	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kadowaki T, Ohnishi H, Kawamoto N, Hori T, Nishimura K, Kobayashi C, Shigemura T, Ogata S, Inoue Y, Kawai T, Hiejima E, Takagi M, Imai K, Nishikomori R, Ito S, Heike T, Ohara O, Morio T, Fukao T, Kanegane H	4. 巻 141
2. 論文標題 Haploinsufficiency of A20 causes autoinflammatory and autoimmune disorders	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Allergy and Clinical Immunology	6. 最初と最後の頁 1485 ~ 1488.e11
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jaci.2017.10.039	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計81件（うち招待講演 21件 / うち国際学会 22件）

1. 発表者名 Imai K
2. 発表標題 How I Approach A Patient With Combined Immunodeficiency?
3. 学会等名 3rd Scientific Congress of Asia Pacific Society for Immunodeficiencies. (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Imai K
2. 発表標題 Hematopoietic stem cell transplantation in PIDs
3. 学会等名 3rd Scientific Congress of Asia Pacific Society for Immunodeficiencies. (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Imai K
2. 発表標題 Viral infections in patients with hypogammaglobulinemia
3. 学会等名 3rd Scientific Congress of Asia Pacific Society for Immunodeficiencies. (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Tomoda T, Okano T, Inoue K, Yamashita M, Kamiya T, Isoda T, Yanagimachi, M Kanegane H, Takagi M, Morio T, Imai K.
2. 発表標題 An intractable case of hyper IgE syndrome.
3. 学会等名 3rd Scientific Congress of Asia Pacific Society for Immunodeficiencies (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Tomoda T, Okano T, Inoue K, Yamashita M, Kamiya T, Isoda T, Yanagimachi, M Kanegane H, Takagi M, Morio T, Imai K.
2. 発表標題 Second transplantation rescued the graft failure after hematopoietic stem cell transplantation for a case of activated PI3K-delta syndrome type 2
3. 学会等名 3rd Scientific Congress of Asia Pacific Society for Immunodeficiencies. (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Okamura M, Tanita K, Takada H, Mitsui T, Minegishi Y, Imai K, Morio T, Kanegane H.
2. 発表標題 Somatically reverted T cells in dedicator of cytokinesis 8 deficiency modify cellular immunity
3. 学会等名 3rd Scientific Congress of Asia Pacific Society for Immunodeficiencies (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Okamura M, Terada N, Mitsuiki N, Ishii T, Morio T, Imai K
2. 発表標題 The first Cernunnos deficiency patient in Japan.
3. 学会等名 3rd Scientific Congress of Asia Pacific Society for Immunodeficiencies (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Miyamoto T, Imai K
2. 発表標題 Japanese experience with UCBT in SCID
3. 学会等名 IEWP of EBMT (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 加藤元博, 大隅朋生, 富澤大輔, 内山徹, 佐古、あゆみ, 井上永介, 瀧本哲也, 石川尊士, 河合利尚, 竹内一郎, 山田全毅, 出口隆生, 今井耕輔, 湯坐有希, 新井勝大, 今留謙一, 金兼弘和, 小野寺雅史, 松本公一
2. 発表標題 非悪性疾患を対象とした移植後シクロフォスファミドと抗胸腺グロブリンを併用したGVHD予防法によるHLA不一致血縁者間造血幹細胞移植の多施設共同前方視的臨床試験: Haplo-NM.
3. 学会等名 第3回日本免疫不全・自己炎症学会総会・学術集会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Yoonsun Yoon, Ji-man Kang, Junsik Choi, Kangmo Ahn, Keon Hee Yoo, Eun-Suk Kang, Kyoung-Mee Kim, Jung Eun Lee, Geum-Young gawk, Kihyun Kim, Kosuke Imai, Hirokazu Kanegane, Yae-jean Kim.
2. 発表標題 Cancer development in a Korean family with CTLA-4 haploinsufficiency
3. 学会等名 第3回日本免疫不全・自己炎症学会総会・学術集会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 友田昂宏、岡野翼、森田俊平、西島暁彦、井上健斗、山下基、神谷尚宏、磯田健志、山本正英、柳町昌克、高木正稔、金兼弘和、今井耕輔、森尾友宏
2. 発表標題 活性化PI3K-delta症候群5例に対する造血細胞移植経験
3. 学会等名 第3回日本免疫不全・自己炎症学会総会・学術集会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 庭野智子、細矢匡、溝口史高、今井耕輔、森尾友宏、小池竜司
2. 発表標題 冠動脈病変による心筋梗塞を契機に診断したA20ハプロ不全症の一成人例
3. 学会等名 第3回日本免疫不全・自己炎症学会総会・学術集会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 坂田園子、岡田賢、松林正、玉浦萌、津村弥来、唐川修平、岡野翼、今井耕輔、森尾友宏、Jean-Laurent Casanova、小林正夫
2. 発表標題 本邦初の常染色体劣性遺伝STAT1完全欠損症
3. 学会等名 第3回日本免疫不全・自己炎症学会総会・学術集会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 岡本圭祐、岡野翼、渡部眞仁、Tzu-Wen Yeh、大谷智子、野老翔雲、岡田賢、今井耕輔、森尾友宏
2. 発表標題 アトピー性皮膚炎と易感染症を呈し、CARD11変異が同定された2症例
3. 学会等名 第3回日本免疫不全・自己炎症学会総会・学術集会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 吉村大、河野通仁、菅原正成、蜷川慶太、柴田悠平、藤枝雄一郎、加藤将、奥健志、アメンゲアル オルガ、保田晋助、山中純子、岡野翼、今井耕輔、森尾友宏、渥美達也
2. 発表標題 イカロス欠損症に合併した関節リウマチに対しアパセプトを用いて寛解導入した一例
3. 学会等名 第3回日本免疫不全・自己炎症学会総会・学術集会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 谷田けい、今井耕輔、岡野翼、成戸卓也、甲畑宏子、岡田賢、高木正稔、金兼弘和、森尾友宏
2. 発表標題 原発性免疫不全症に対する保険診療による遺伝子検査175例についての検討
3. 学会等名 第3回日本免疫不全・自己炎症学会総会・学術集会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Hoshino A, Okano T, Matsumoto K, Nishimura A, Shintaku H, Tokoro S, Okamoto H, Wada T, Mitsui N, Kajiwara M, Takagi M, Imai K, Kanegane H, Morio T
2. 発表標題 Plasmacytoma-Like Post-Transplant Lymphoproliferative Disorder with Multiple Autoantibodies in a XIAP Deficient Patient
3. 学会等名 19th Biennial Meeting of the European Society of Immunodeficiencies (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Okano T, Imai K, Naruto T, Okada S, Okamoto K, Yamashita M, Yeh T. W, Takagi M, Kanegane H, Morio T
2. 発表標題 Diagnostic Approach by Whole Exome Sequencing for 141 Patients of Inborn Errors of Immunity
3. 学会等名 19th Biennial Meeting of the European Society of Immunodeficiencies (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Sakata S, Okada S, Matsubayashi T, Tamaura M, Tsumura M, Okano T, Imai K, Bustamante J, Morio T, Casanova JL, Kobayashi M.
2. 発表標題 The First Intronic Mutations Which Caused Autosomal Recessive Complete STAT1 Deficiency
3. 学会等名 19th Biennial Meeting of the European Society of Immunodeficiencies (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 花井潤師, 田中稔泰, 山田雅文, 今井耕輔
2. 発表標題 自動核酸抽出機・TREC/KREC同時測定キットによるPIDスクリーニングの基礎検討
3. 学会等名 第46回日本マススクリーニング学会 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 今井耕輔
2. 発表標題 TRECとKRECを用いた重症原発性免疫不全症に対する新生児スクリーニングの実現に向けて
3. 学会等名 第46回日本マススクリーニング学会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 遠藤明史, 今井耕輔, 井上健斗, 岡野翼, 清水則夫, 寺田尚美, 森下あおい, 友田昂宏, 山下基, 柳田昌克, 磯田健志, 神谷尚宏, 高木正稔, 金兼弘和, 森尾友宏
2. 発表標題 免疫不全患者に対するマルチプレックスPCR法を用いた呼吸器感染症早期診断の臨床的有用性の検討
3. 学会等名 第51回日本小児・感染症学会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 井上健斗, 佐々木彩恵子, 八角高裕, 今井耕輔, 楠隆, 森尾友宏, 金兼弘和
2. 発表標題 X連鎖無ガンマグロブリン症患者におけるHelicobacter cinaedi感染症
3. 学会等名 第51回日本小児・感染症学会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Tsubasa Okano, Eri Kumaki-Matsumoto, Makoto Otsu, Kohsuke Imai, Tomohiro Morio
2. 発表標題 Down-regulation of protein translation by OAS1 missense mutants and the pathogenesis of human OAS1 related pulmonary alveolar proteinosis with hypogammaglobulinemia
3. 学会等名 第48回日本免疫学会総会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Issei Nunoda, Takahiro Tomoda, Takahiro Kmiya, Tsubasa Okano, Maho Hatano, Yuri Yoshimoto, Hideki Muramatsu, Aoi Morishita, Kento Inoue, Motoi Yamashita, Akifumi Endo, Masakatsu Yanagimachi, Takeshi Isoda, Hirokazu Kanegane, Masatoshi Takagi, Kohsuke Imai, Tomohiro Morio
2. 発表標題 GATA2異常症に伴うMDSに対するAzacitidineの有効性
3. 学会等名 第61回日本小児血液・がん学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Takahiro Tomoda, Akira Nishimura, Rintaro Ono, Takeshi Isoda, Maiko Inoue, Takahiro Kamiya, Masakatsu Yanagimachi, Kohsuke Imai, Hirokazu Kanegane, Daisuke Hasegawa, Tomohiro Morio, Atsushi Manabe, Masatoshi Takagi
2. 発表標題 急性骨髄性白血病からT細胞型急性リンパ性白血病へclonal evolutionを起こしたMLL-AF9陽性乳児白血病の一例
3. 学会等名 第61回日本小児血液・がん学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Maho Hatano, Takahiro Tomoda, Tsubasa Okano, Issei Nunoda, Aoi Morishita, Kento Inoue, Motoi Yamashita, Akifumi Endo, Takahiro Kamiya, Takeshi Isoda, Masakatsu Yanagimachi, Masatoshi Takagi, Hirokazu Kanegane, Keisuke Okuno, Kohsuke Imai, Tomohiro Morio
2. 発表標題 非血縁者間骨髄移植後早期にバンコマイシン自然耐性腸球菌性髄膜炎に罹患した活性型P13K 症候群2型の1例
3. 学会等名 第61回日本小児血液・がん学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 井上健斗, 神谷尚宏, 井上真依子, 星野顕宏, 磯田健志, 柳町昌克, 今井耕輔, 金兼弘和, 高木正稔, 森尾友宏
2. 発表標題 ドナーリンパ球輸注により寛解導入及び1年間の寛解を維持できた再発性T細胞型急性リンパ性白血病症例
3. 学会等名 第61回日本小児血液・がん学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名	松本和明, 西村聡, 井上真依子, 井上健斗, 廣木遥, 小野真太郎, 岡野翼, 田中真理, 足洗美穂, 宮本智史, 宮脇零士, 山岸千佳, 手束真理, 大川哲平, 星野頭宏, 遠藤明史, 神谷尚宏, 青木由貴, 満生紀子, 小野敏明, 柳町昌克, 磯田健志, 富澤大輔, 長澤正之, 梶原道子, 高木正稔, 金兼弘和, 今井耕輔, 森尾友宏
2. 発表標題	Wiskott-Aldrich症候群における血小板輸血不応に対する各種治療薬の効果と安全性の検討
3. 学会等名	第61回日本小児血液・がん学会学術集会
4. 発表年	2019年

1. 発表者名	森下あおい, 磯田健志, 山下基, 神谷尚宏, 岡野翼, 友田昂宏, 遠藤明史, 柳町昌克, 今井耕輔, 金兼弘和, 高木正稔, 森尾友宏
2. 発表標題	B前駆細胞性急性リンパ性白血病の移植後再発に対して、GVHDの治療を行いながらBI inatumomabを使用した一例
3. 学会等名	第61回日本小児血液・がん学会学術集会
4. 発表年	2019年

1. 発表者名	坂川由里歌, 友田昂宏, 岡野翼, 森下あおい, 井上健斗, 山下基, 遠藤明史, 磯田健志, 神谷尚宏, 柳町昌克, 高木正稔, 金兼弘和, 今井耕輔, 竹下健一, 石和田稔彦, 森尾友宏
2. 発表標題	骨髄移植後のIgG2選択的低値時に発症した侵襲性肺炎球菌感染症
3. 学会等名	第61回日本小児血液・がん学会学術集会
4. 発表年	2019年

1. 発表者名	遠藤明史, 今井耕輔, 井上健斗, 岡野翼, 清水則夫, 寺田尚美, 森下あおい, 友田昂宏, 山下基, 柳町昌克, 磯田健志, 神谷尚宏, 高木正稔, 金兼弘和, 森尾友宏
2. 発表標題	免疫不全患者に対するマルチプレックスPCR法を用いた呼吸器感染症早期診断の臨床的有用性の検討
3. 学会等名	第61回日本小児血液・がん学会学術集会
4. 発表年	2019年

1. 発表者名 江川真希子,小峯真理子,辰巳嵩征,高峰えりこ,高橋沙矢子,甲畑宏子,今井耕輔,高木正稔,江花有亮,吉田正幸
2. 発表標題 ウィスコット・アルドリッチ症候群の保因者診断を主とした遺伝カウンセリングの経験
3. 学会等名 日本人類遺伝学会第64回大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 谷田けい, 今井耕輔, 岡野翼, 成戸卓也, 甲畑宏子, 岡田賢, 高木正稔, 金兼弘和, 森尾友宏
2. 発表標題 原発性免疫不全症に対する保険診療による遺伝子検査140例についての検討
3. 学会等名 日本人類遺伝学会第64回大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 森下あおい,山下基,磯田健志,友田昂宏,岡野翼,神谷尚宏,柳町昌克,今井耕輔,金兼弘和,高木正稔,森尾友宏
2. 発表標題 B前駆細胞性急性リンパ性白血病の移植後再発に対して、Blinatumomab、ドナーリンパ球輸注、Inotuzumab ozogamicinを使用した後、post-transplant cyclophosphamideを用いて、HLA半合致移植を行った一例
3. 学会等名 第25回小児血液・SCT研究会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 岡本圭祐,柳町昌克,今井耕輔,森尾友宏
2. 発表標題 原発性免疫不全症と免疫療法
3. 学会等名 第47回日本臨床免疫学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名	山下基, 磯田健志, 森下あおい, 神谷尚宏, 岡野翼, 友田昂宏, 遠藤明史, 柳町昌克, 今井耕輔, 金兼弘和, 高木正稔, 森尾友宏
2. 発表標題	GVHD治療中再発の難治性ALLに対するプリナツモマブ、イノツズマブオゾガマイシンの使用経験
3. 学会等名	第11回日本血液疾患免疫療法学会学術集会
4. 発表年	2019年

1. 発表者名	布田一生、岡野翼、友田昂宏、神谷尚宏、柳町昌克、長堀正和、大塚和朗、高木正稔、金兼弘和、今井耕輔、森尾友宏
2. 発表標題	ベドリスマブが奏功した難治性Crohn病様腸管GVHD
3. 学会等名	第10回関東甲越免疫不全症研究会
4. 発表年	2019年

1. 発表者名	水野朋子, 山内泰輔, 鈴木智典, 鹿島田彩子, 岡野翼, 今井耕輔, 高木正稔, 野村莉紗, 渡辺章充
2. 発表標題	KBG症候群はDandy-Walker variantを合併する
3. 学会等名	第61回日本小児神経学会学術集会
4. 発表年	2019年

1. 発表者名	西村聡, 足洗美穂, 神谷尚宏, 山本俊亮, 山本薫, 友田昂宏, 井上真依子, 井上健斗, 宮本智史, 小野林太郎, 平林真介, 磯田健志, 柳町昌克, 細谷要介, 長谷川大輔, 今井耕輔, 高木正稔, 金兼弘和, 真部淳, 森尾友宏
2. 発表標題	腸管気腫を来した血液腫瘍性疾患・原発性免疫不全症の5例
3. 学会等名	第122回日本小児科学会
4. 発表年	2019年

1. 発表者名 釜江智佳子, 今井耕輔, 加藤環, 岡野翼, 本間健一, 中川紀子, 野口恵美子, 久保田健夫, 森尾友宏, 金兼弘和, 野々山恵章
2. 発表標題 本邦におけるICF症候群の臨床的および免疫学的検討
3. 学会等名 第122回日本小児科学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 伊藤一之, 早田茉莉, 箕面崎至宏, 今井耕輔, 森尾友宏
2. 発表標題 悪性リンパ腫に対して化学療法を行った母体から出生し、低グロブリン血症を呈した児の1例
3. 学会等名 第122回日本小児科学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 有働みどり, 羽賀洋一, 松岡正樹, 徳山美香, 高橋浩之, 清水教一, 松裏裕行, 館野昭彦, 今井耕輔, 根津敦夫
2. 発表標題 小児交互性片麻痺・難治性てんかんに合併した低ガンマグロブリン血症
3. 学会等名 第122回日本小児科学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Imai K
2. 発表標題 Antibody deficiency: a diagnostic and management challenge
3. 学会等名 APSID Autumn School (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Imai K
2. 発表標題 Hematopoietic stem cell transplantation for primary immunodeficiency in Japan
3. 学会等名 KSPHO(韓国小児科学会)(招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Imai K
2. 発表標題 Newborn Screening for primary immunodeficiency (PID) in Japan and Asia.European Society for Blood and Marrow Transplantation
3. 学会等名 IEWP(欧州骨髄移植学会及び欧州免疫不全症先天性疾患ワーキンググループ)(国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Imai K
2. 発表標題 PIDJ: primary immunodeficiency in Japan project
3. 学会等名 2018 Samsung Medical Center Primary Immunodeficiency Symposium(招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Imai K
2. 発表標題 Newborn Screening of PID in Japan
3. 学会等名 7th Singapore Paediatric and Perinatal Annual Congress (SiPPAC)(招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Imai K
2. 発表標題 Primary Antibody Deficiencies
3. 学会等名 7th Singapore Paediatric and Perinatal Annual Congress (SiPPAC) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Imai K
2. 発表標題 PID research and clinical care in Japan
3. 学会等名 The 2nd Scientific Congress of Asia-Pacific Society for Immunodeficiencies (APSID) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Imai K
2. 発表標題 Hematopoietic stem cell transplantation for radiosensitive severe combined immunodeficiency
3. 学会等名 APSID 2018 Summer School (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Yeh T. W, Okano T, Okamoto K, Yamashita M, Takashima T, Mitsuki N, Okada S, Kanegane H, Imai K, Morio T
2. 発表標題 April Deficiency as a Cause of Common Variable Immunodeficiency
3. 学会等名 18th Biennial Meeting of the European Society of Immunodeficiencies (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Okamoto K, Shigemizu D, Okano T, Yeh TW, Takashima T, Yamashita M, Ono S, Mitsuiki N, Takagi M, Mori M, Kanegane H, Tsunoda T, Imai K, Morio T
2. 発表標題 Whole exome sequence analysis using the known and candidate genes for primary immunodeficiency diseases
3. 学会等名 The 2nd APSID Scientific Congress (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Yeh TW, Okano T, Okamoto K, Yamashita M, Takashima T, Mitsuiki N, Okada S, Kanegane H, Imai K, Morio T
2. 発表標題 APRIL deficiency as a cause of common variable immunodeficiency
3. 学会等名 The 2nd APSID Scientific Congress (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Imai K
2. 発表標題 Diagnostic network of PID in Japan:PIDJ network
3. 学会等名 第50回日本小児感染症学会 (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 今井耕輔
2. 発表標題 免疫不全の新生児マススクリーニング
3. 学会等名 第121回日本小児科学会学術集会 (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名	足洗美穂, 西村聡, 神谷尚宏, 山本俊亮, 小野林太郎, 友田昂宏, 山本薫, 井上健斗, 井上真依子, 廣木遥, 宮本智史, 星野顕宏, 梅原直, 平林真介, 岡本健太郎, 柳町昌克, 磯田健志, 細谷要介, 長谷川大輔, 今井耕輔, 高木正稔, 金兼弘和, 森尾友宏, 真部淳
2. 発表標題	造血細胞移植後に生じた腸管気腫症に対して間欠的酸素投与が有効であった3例
3. 学会等名	第41回日本造血細胞移植学会総会
4. 発表年	2019年

1. 発表者名	柳町昌克, 布井博幸, 水上智之, 西村豊樹, 佐々木康二, 清谷知賀子, 康勝好, 井口晶裕, 田淵健, 井上雅美, 加藤剛二, 今井耕輔, 矢部普正, 小林正夫, 森尾友宏
2. 発表標題	慢性肉芽腫症に対する造血細胞移植成績に及ぼす遺伝子型の影響 (JSHCTとPIDJ データ解析より)
3. 学会等名	第41回日本造血細胞移植学会総会
4. 発表年	2019年

1. 発表者名	梅田雄嗣, 今井耕輔, 柳町昌克, 矢部普正, 川口浩史, 高橋義行, 梶原道子, 井上雅美, 橋井佳子, 熱田由子, 森尾友宏
2. 発表標題	非腫瘍性疾患に対する同種造血幹細胞移植においてGVHD が治療成績に与える影響
3. 学会等名	第41回日本造血細胞移植学会総会
4. 発表年	2019年

1. 発表者名	今井耕輔
2. 発表標題	原発性免疫異常症の遺伝子診断: PIDJ ver.2
3. 学会等名	第2回 日本免疫不全・自己炎症学会総会・学術集会
4. 発表年	2019年

1. 発表者名 矢田裕太郎, 江口克秀, 石村匡崇, 幸伏寛和, 長谷川一太, 白石 暁, 古賀大介, 西 眞範, 今 井耕輔, 金兼弘和, 大賀正一
2. 発表標題 高IgE血症を伴う難治性下痢から診断し造血細胞移植で根治したIPEX症候群
3. 学会等名 第2回 日本免疫不全・自己炎症学会総会・学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 西村聡, 青木由貴, 石渡泰芳, 井上真依子, 市村卓也, 上山潤一, 松本和明, 井上健斗, 廣木遥, 小野真太郎, 岡野翼, 田中真理, 足洗美穂, 宮本智史, 宮脇零士, 山岸千佳, 手束真理, 大川哲平, 星野顕宏, 今井耕輔, 他
2. 発表標題 原発性免疫不全症に対するフルダラピン・ブスルファンとフルダラピン・メルファランの強度減弱前処置による造血細胞移植
3. 学会等名 第2回 日本免疫不全・自己炎症学会総会・学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yeh TW, Okano T, Okamoto K, Yamashita M, Takashima T, Mitsuiki N, Okada S, Kanegane H, Imai
2. 発表標題 APRIL deficiency as a cause of common variable immunodeficiency
3. 学会等名 第2回 日本免疫不全・自己炎症学会総会・学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 門脇朋範, 大西秀典, 金兼弘和, 川本典生, 堀 友博, 今井耕輔, 深尾敏幸
2. 発表標題 Multicolor flow cytometryによるA20ハプロ不全症患者のリンパ球サブセット の解析
3. 学会等名 第2回 日本免疫不全・自己炎症学会総会・学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 奥廣有喜,山崎夏維,谷村一輝,比良洸太,仁谷千賀,岡田恵子,藤崎弘之,岡本圭祐,岡田賢,重水大智,今井耕輔,森尾友宏,原純一
2. 発表標題 成人期に達し遅発型複合免疫不全症に移行したNFKB1異常症に対する同種造血幹細胞移植
3. 学会等名 第2回 日本免疫不全・自己炎症学会総会・学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 戸澤雄介,Abdrabou Shima,野川奈津子,西内津雄,石田敏章,佐野秀樹,鈴木雄一,小林良二,小原収,成戸卓也,今井耕輔,小林邦彦,有賀正,山田雅文
2. 発表標題 新たに診断した残存活性を有する遺伝性葉酸吸収不全症例と既報3症例との比較検討
3. 学会等名 第2回 日本免疫不全・自己炎症学会総会・学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 西川拓明,指宿敦子,今井耕輔,金兼弘和,河野嘉文
2. 発表標題 皮膚生検で著名なランゲルハンス細胞浸潤を認めた新規IL2RG変異Omenn症候群
3. 学会等名 第2回 日本免疫不全・自己炎症学会総会・学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 石橋佑脩,岡野翼,谷田けい,磯田健志,小林法元,藤原享志,座波清誉,野々山恵章,今井耕輔,森尾友宏,金兼弘和
2. 発表標題 BTK転写調節の異常によるX連鎖無ガンマグロブリン血症の3家系
3. 学会等名 第2回 日本免疫不全・自己炎症学会総会・学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 釜江智佳子、今井耕輔、加藤環、岡野翼、本間健一、中川紀子、Yeh Tzuwen、野口恵美子、小原収、佐々木裕之、久保田健夫、森尾友宏、金兼弘和、野々山恵章
2. 発表標題 複合免疫不全症としてのICF症候群
3. 学会等名 第2回 日本免疫不全・自己炎症学会総会・学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kumaki E, Tanaka K, Imai K, Aoki-Nogami Y, Ishikawa F, Morio T
2. 発表標題 Atypical SIFD patient without sideroblastic anemia with novel TRNT1 mutations: studies on molecular pathogenesis of B cell deficiency and periodic fever.
3. 学会等名 第47回日本免疫学会総会学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 岩永翔子, 山内建, 岩田はる香, 四手井網則, 滝敦子, 今井耕輔
2. 発表標題 家族歴により診断に至ったWiskott-Aldrich症候群 (WAS) の新生児例
3. 学会等名 第63回日本新生児成育医学会・学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 勝屋恭子, 伊藤一之, 藤田華子, 宮原宏幸, 早田茉莉, 佐藤千穂, 箕面崎至宏, 奥起久子, 滝敦子, 森丘千夏子, 今井耕輔
2. 発表標題 早産児等における原発性免疫不全症新生児スクリーニング法の検討
3. 学会等名 第63回日本新生児成育医学会・学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名	Inoue K, Kamiya T, Miura H, Inoue M, Yanagimachi M, Park MJ, Imai K, Takagi M, Yoshikawa T, Kanegane H, Morio T
2. 発表標題	Hematopoietic stem cell transplantation for XIAP deficiency with chromosomally integrated human herpesvirus 6
3. 学会等名	第50回日本小児感染症学会学術集会
4. 発表年	2018年

1. 発表者名	Inoue M, Isoda T, Matsumoto K, Inoue K, Kamiya T, Yanagimachi M, Takagi M, Kanegane H, Imai K, Morio T
2. 発表標題	Cytomegalovirus laryngitis in primary combined immunodeficiency diseases
3. 学会等名	第50回日本小児感染症学会学術集会
4. 発表年	2018年

1. 発表者名	岡本圭祐, 森雅亮, 松井利浩, 溝口史高, 星野顕宏, 今井耕輔, 上阪等, 森尾友宏
2. 発表標題	自己免疫性疾患患者における原発性免疫不全症合併例の後方視的分析
3. 学会等名	第46回日本臨床免疫学会総会
4. 発表年	2018年

1. 発表者名	上島洋二, 磯部勉, 小倉友美, 谷田けい, 寺田尚美, 古市美穂子, 佐藤智, 菅沼栄介, 康勝好, 高木正稔, 今井耕輔, 野々山恵章, 森尾友宏, 金兼弘和
2. 発表標題	同じ遺伝子変異で異なる臨床病型を認めたhypomorphic RAG1 mutationsによる複合型免疫不全症の兄弟例
3. 学会等名	第46回日本臨床免疫学会総会
4. 発表年	2018年

1. 発表者名	梅田 雄嗣, 矢部 普正, 加藤 剛二, 今井 耕輔, 小林 正夫, 高橋 義行, 井上 雅美, 橋井 佳子, 熱田 由子, 森尾 友宏
2. 発表標題	低線量放射線とT細胞除去が非腫瘍性疾患に対する骨髄非破壊的前処置を用いた造血細胞移植に与える影響
3. 学会等名	第80回日本血液学会学術集会
4. 発表年	2018年

1. 発表者名	本間あおい, 金兼弘和, 廣木遙, 岡野翼, 谷田けい, 今井耕輔, 高木正稔, 渡辺章充, 渡部誠一, 森尾友宏
2. 発表標題	IgAおよびIgGサブクラス欠損症としてフォローされていたICF症候群の姉妹例
3. 学会等名	第121回日本小児科学会学術集会
4. 発表年	2018年

1. 発表者名	田中絵里子, 高木正稔, 今井耕輔, 森尾友宏
2. 発表標題	小児特発性ネフローゼ症候群患者の腎組織におけるToll様受容体発現の検討
3. 学会等名	第121回日本小児科学会学術集会
4. 発表年	2018年

1. 発表者名	毛利万里子, 森雅亮, 金森透, 岡本圭祐, 田中絵里子, 今井耕輔, 森尾友宏, 岡本 健太郎
2. 発表標題	アダリムマブを含む多剤併用にて寛解を得た難治性腸管ペーチェット病の2歳女児
3. 学会等名	第121回日本小児科学会学術集会
4. 発表年	2018年

1. 発表者名 小倉 友美,加藤 環、Rawat Amit、釜江 智佳子、今井 耕輔、野々山 恵章
2. 発表標題 重症複合免疫不全症及び毛細血管拡張性運動失調症の迅速遺伝子診断
3. 学会等名 第121回日本小児科学会学術集会
4. 発表年 2018年

〔図書〕 計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

<p>プレスリリース：「抗体産生不全症の原因遺伝子APRILを発見」【東京医科歯科大学 今井耕輔 寄附講座准教授】 http://www.tmd.ac.jp/archive-tmdu/kouhou/20200423_2.pdf</p>
--

6. 研究組織		
氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関			
スウェーデン	カロリンスカ研究所			
インド	PGIMER, Chandigarh			
フランス	ネッケル小児病院			